

なかよし・けんこう・とよく

# 天見小校長室だより 11月号

令和6年10月31日  
天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校



大きな行事がある時には、「晴れますように！」と念じながら、実は、その日は勝手に「晴れる！」と信じながら当日を迎えます。しかし、最近では、天気予報があまりにも詳しく出るので、「雨が降りそうな予感」もあわせて知ることとなります。雨が降る・・・という予報が出ていても、晴れるのではないかなと思うほど、天見小学校の職員は、いわゆる「晴女」「晴男」が多いようで、(根拠は全くないですが)有難いことに、行事のほとんどが晴れの中、行うことができます。最近でいうと運動会、校外学習、修学旅行等々・・・晴れてくれることが多いです。行事当日が晴れてくれると、お天道様も応援してくれたような気持ちになり、「お日様、顔を出してくれてありがとう。」と天に向かって声をかけたくくなります。

## 運動会

10月20日、この日も「雨のち曇り」の予報の中、開会式にはすっかり雨の様子もなくなり、土曜日に降った雨も運動場にあまり水がたまることもなく、定刻通りに開催することができました。毎年ながら、たくさんの方が応援に来てくださり、にぎやかに運動会が開催できましたこと、心より感謝申し上げます。そして、今年もたくさんの卒業生が天見小学校に帰ってきてくれ、嬉しく思いました。人とのつながりは天見小学校の財産の一つ。天見小学校が卒業生の心の故郷になり、みんなの天見小学校であり続けたいと願います。

私は、この小学校で2回目の運動会を経験しましたが、今年は昨年よりもさらにパワーアップしているように感じました。会場の雰囲気がとても温かく、児童だけでなく、地域も卒業生もみんなが楽しめる運動会がいいなといつも思います。

子どもたちのパフォーマンスからたくさんの力をもらいました。一生懸命に走っている徒競走や団体競技、伝えたいことを必死に伝えようと頑張っている団体演技、異学年の関わりが微笑ましいたてわり競技、どの種目からも元気と笑顔をもらいました。特に各学年の団体演技は、どの学年も見ごたえがあり、こんなに一生懸命に自分たちの発表を頑張ってくれている子どもたちにいっぱい拍手を送りたい気持ちになりました。

低学年のポケモンには、リザードンや、さとし君も飛び出し、先生も含めたみんなで発表を楽しんでいる雰囲気がとても明るく素敵でした。

中学年のHIPPIYの「君に捧げる応援歌」の歌に合わせて手話をモチーフにしたダンスはとても力強く、歌声とともに心の中にスーッと入ってくる感じがして「形が変わっても夢を追い続けて！逃げ出さないで頑張ろう！」という気持ちが自然とわいてきました。



高学年のガードと組み立て体操は全員の力が結集していて最高にかっこよく、6年生の言葉も皆、前向きに頑張ろうという思いが伝わってきて、泣かされました。6年生のお母さんたちが、子どもたちを見て「我が子の成長、同級生の成長」をものすごく喜びながら涙してくださっていたのを見て、学校と保護者が「ともに喜び合える」ことに感謝の気持ちしかありませんでした。



高学年の綱引きの時に、突然の助っ人をお願いしたら、すぐに「やったるで。」と前に出てくれたお家の方や卒業生。その姿に天見への愛を感じたし、有難いし、盛り上がるし、「これこそ、天見小学校や！」って感動いっぱいになってしまいました。くじなので、だれが当たるかわからない状況の中で、「保護者の方」「卒業生」と声がかかると、すぐに出てきてくださる優しさとかっこよさに感謝します。卒業生も、お家の方々も、子どもたちと一緒に綱を引っ張るだけでなく、踊りもしてくれて、本当にありがとうございました。

後片付けも毎年ながら、みなさんが一緒に片付けてくださるので、あっという間に終わり助かっています。本当に本当に、ありがとうございました。来年も盛大に子どもたちを中心に地域と保護者と学校と三位一体で素敵な運動会になる事を願っています。

## 天見にぎわいフェスタ・・・地域の力で元気と笑顔に

元気と笑顔をもたらした話題をもう一つ。

運動会の次の日曜日・・・10月27日に天見連合自治会、天見まちづくり協議会、福祉委員会、民生児童委員、公民館の皆さま方の力が結集されて「天見にぎわいフェスタ」が開催されました。このフェスタに来させていただいて、地域の力・エネルギーというのをものすごく感じたので紹介しておきます。このフェスタは、「地域の結束力」と「高齢化・災害に対応できるように」と、また、「住民以外の方にも、天見の自然豊かな暮らしに興味を持っていただけるように」という地域の方の熱い思いがあって今年初めて催されたイベントです。

いつもお世話になっている学校運営協議会の時に、「昔は天見小学校で、たくさんの方が集まって花見をして、にぎやかだったんですよ。」「天見もいろんな人が集まってにぎやかに触れ合う時間があったんですが、コロナをはさんでしまって、どの事業もなくなってしまった。」とおっしゃっていたのが印象に残りました。この天見小学校の川沿いに桜の木が何本も植わっていて、とてもきれいだったそうです。そのころにはみんなお弁当をもってここへ遊びに来ておられたのだろうなと想像しました。「天見から巣立っていった人も皆、天見に帰って



きてもらって、故郷天見に人が集まってほしいんです。」「ミニ同窓会にでもなったらいいなとも思うんです。」「天見のまちの良さを知ってもらい、故郷が賑わってほしい。」そうおっしゃったお話しもとても印象に残りました。その中で「小学校に子どもの声が聞こえることも天見のまちを活性化しています。」とおっしゃってくださったことが忘れられません。小学校がまちを活性化するというお話しには、衝撃を受けました。今までいろんな小学校に勤めましたが、学校がまちを活性化するとは思っていませんでした。もちろん今までも各々小学校で地域の人に助けていただきましたし、それぞれの地域の方には頭の下がる感謝の言葉しかありません。でも、こちらに赴任して、この天見小学校の役割について考えさせられてしまったのです。まちとともに息吹く小学校、まちとともに育つ小学校であらなければいけないと改めて思いました。私の中で、「まちが大切にしている小学校を存続させたい」という気持ちが強くなりました。児童募集は、子どもの数が減っていく中で、なかなか思うようには成果をあげられないのが実情ですが、思いつく限りできることはさせていただいて、たくさん子どもたちが天見小学校に通ってくださればいいと思います。天見小学校は地域と保護者と学校と三位一体で動いている本当にいい学校です。保護者のみなさんの口コミでも、どうぞ天見小学校を紹介して下さるよう、よろしく願いいたします。



「天見にぎわいフェスタ」の話に戻ります。一年も前から、計画を立て、食、イベント、看板、等々いろいろなブースに分かれて、企画運営なされたのが、今回の「天見にぎわいフェスタ」でした。その一つに遊歩道の「不審者対応」の看板の作り直しの話も出てきました。「天見小学校の児童募集」の看板を作ってくださいとお話は、皆さまにも以前お話しさせていただいたこともあったかと思いますが、天見小学校をもっと知ってもらうためにと立派な看板を作ってくださいになりました。それに伴い、天見小学校では、今年度PTAの運営委員会の方たちから文言を募集し、投票の多かった言葉に子どもたちの絵をつけてくださって、看板に仕上げてくださいました。「ここでしか学べないことがある。」「一人ひとりの個性が輝く。」「自然いっぱい！笑顔いっぱい！」三枚に書かれた言葉です。この看板は、天見駅と千早口駅、天見小学校前に立てる予定にしております。



「第一回 天見にぎわいフェスタ」・・・ゼロから作る大変さを私たちはよく知っています。だからこそ、「地域の力、すごい！」と思えました。何度も何度も入念に天見小学校に下見に来られて、計画を練られている地域のみなさんに頭が下がりました。

ところが、アクシデントが起こります。10月27日統一選挙・・・まさかの選挙と一緒の日になったり、その日の天気予報が雨だったり・・・。

投票とフェスタの両方を実現させ、予想していた雨も一日降らずで天気も持ち、文字通り「天も味方してくれた」会になったのではないかと思います。私ももちろん楽しみに参加させていただきました。イベントのブースも、天見の歴史の展示や作品のブースも、食のブースも、子どもたちの遊び場のブースも公民館のモルックのブースも・・・全てにおいて「天見にぎわいフェスタ」はとても楽しかったです。

天見小学校の子どもたちもたくさん遊びに来ていました。



イベントもどれも見ごたえがあり、楽しませていただきました。プロさながらのイベント会場のさばき方、食のホールのさばき方、お店のさばき方がびっくりするくらいスムーズで、来ておられるみなさんが本当に楽しめる空間を作っておられたことにびっくりしたぐらいです。焼きそばを焼くにも、シュミレーションしながら何度も練習されたそうです。

「あまみの風」によると、天見の住民は約800人だそうです。「天見にぎわいフェスタ」に参加された人数は約500人ほどだったそうで、この天見小学校にたくさんの方が集まってくださってよかったなと思いました。選挙にも、いつもよりたくさんの方が投票にいられたそうで、「相乗効果で、良かったです。」と終わってからおっしゃっていました。スタッフのみなさんは、本当に大変だったと思いますが、「日頃会えない方とも久々にあえて、さながら「ミニ同窓会」のようでしたよ。」と楽しそうにお話しして下さっていたのが、心に残りました。

時間が過ぎるのも早く、あっという間の5時間でした。

実行委員長をはじめとして天見まちづくり協議会のみなさん、連合自治会のみなさん、福祉委員のみなさん、児童民生委員のみなさん、本当にお疲れ様でした。人と繋がる、人と交わる、天見にたくさんの方が集まり、ともに楽しい時間を共有させていただきました。

以前に学校運営協議会でお話しされていた「人が集まり」「交流を」「天見の良さを十分に知ってもらいたい」気持ちを全て凝縮した会を実現なされたことに、我々も力をいただきました。

失礼ながら、スタッフの平均年齢は60代後半？くらいでしょうか。その年代の方々の持つ力の大きさにあらためて感服しております。

公民館でのモルックには、次世代の中学生からも指導しに来てくれていました。天見小学校を卒業した子どもたちが、一石を投じてくれたことにもありがたさを感じています。地域の力を我々は有り難く頂戴しながら、天見小学校で過ごさせていることに感謝します。



## 次は天小まつり・・・

毎年、天見に関係するようなことを題材に縦割り班でお店を作り、学校に見学しに来てくださった皆さんに楽しんでもらうように、子どもたちの企画が始まりました。なかなか昨年度も、楽しいお店が並びました。天見の良さをしっかりと伝えられるようにお店をうまく作っていました。さあ、今年の天小まつりのお店はどんなものができるのか、天見小学校への入学を考えてくださっているお友だちが楽しめるよう、天見小学校の良さが伝わるよう、天見小学校生もがんばっています。

先にもお話ししましたが、保護者のみなさまのお友だちで天見小学校の入学をお考えになられているお友だちがいらっしゃったら、子どもたちとともに天見の良さを広めていただけると嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

地域の皆さまには、またお手伝いしていただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。